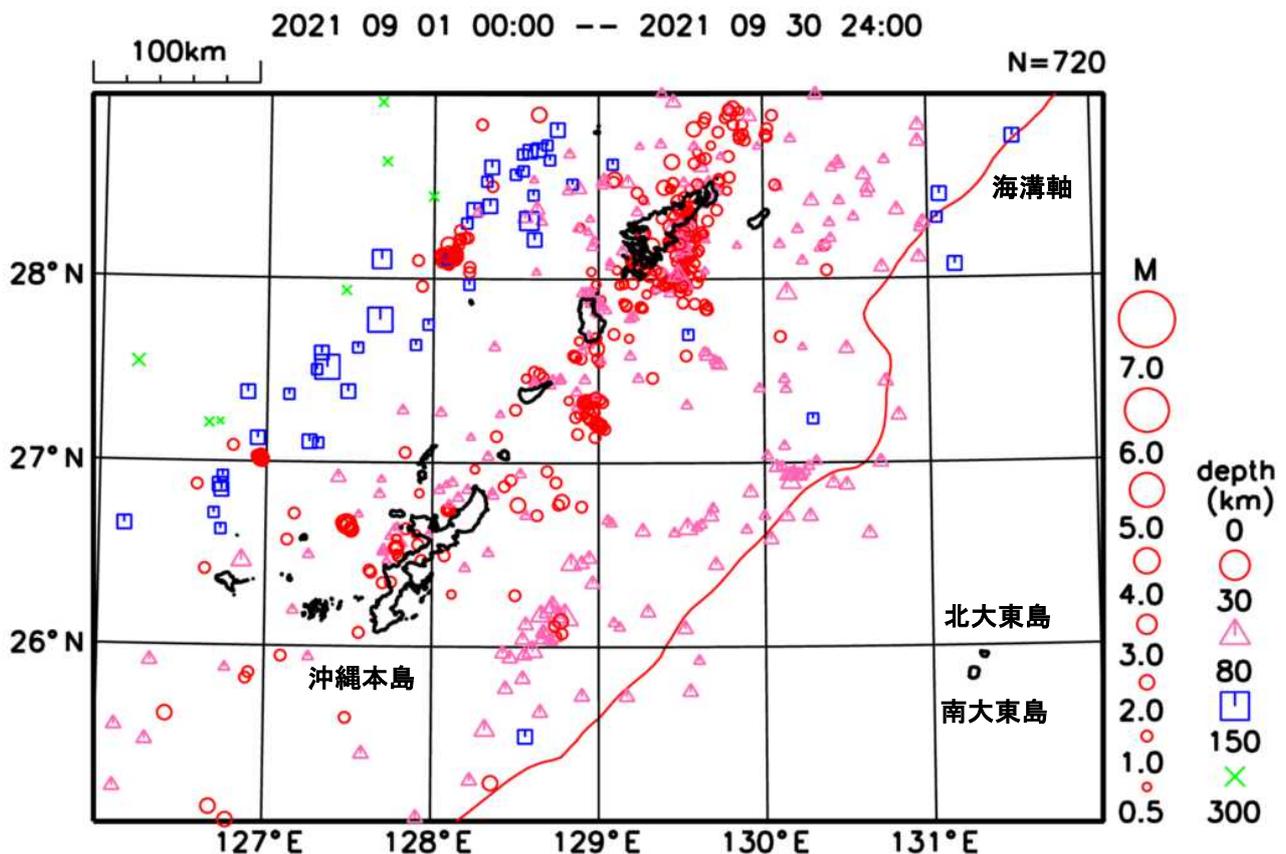


# 大東島地方の地震活動

2021年9月

南大東島地方気象台

## 震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ  
N : 地震回数 (マグニチュード 0.5 以上の回数です)  
沖縄県内で震度 1 以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

### [ 概 況 ]

9月に、震度1以上を観測した地震は、大東島地方及び沖縄本島地方ともありませんでした(8月は大東島地方ではなし。沖縄本島地方では1回)。

また、大東島地方周辺(上図の範囲)で観測した地震は720回(8月は778回)で、このうちM4.0以上の地震は4回(8月も4回)でした。

※沖縄地方(沖縄県)の地震については、沖縄気象台作成の「沖縄地方の地震活動」をご覧ください。  
URL : <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>

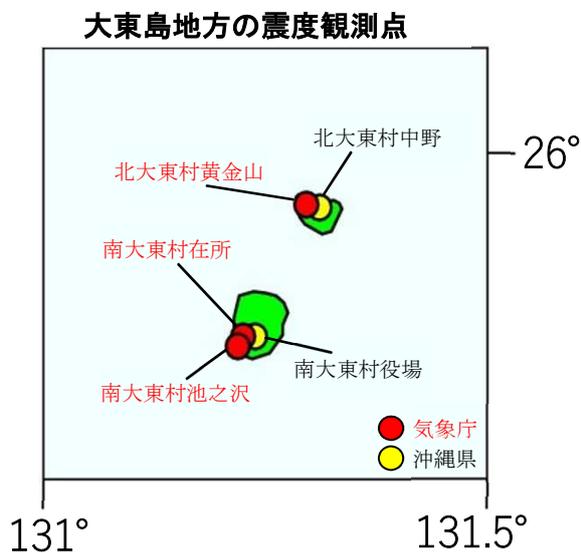
※資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※データについては精査により、後日修正することがあります。



 気象庁 南大東島地方气象台  
Japan Meteorological Agency Minamidaitoujima Local Meteorological Office

本件に関するお問い合わせ先

電話:09802-2-2006

ホームページ:<https://www.data.jma.go.jp/daitou/>

## 津波を知り適切な避難行動を

毎年11月5日は「津波防災の日」です。平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震によって多くの人命が奪われましたが、その死因の多くは津波による溺死でした。沖縄県内でも1771年に八重山諸島近海で発生した、いわゆる明和の大津波では約1万2千人の犠牲者が出ており、最近だと1960年のチリ地震津波で3人の犠牲者が出ています。四方を海で囲まれた沖縄県にとって津波は大きな脅威となりえます。津波の特徴を知り、その避難行動について学びましょう。

津波とは主に地震で隆起、または沈降した海底によって海面が変動し、それが大きな波となって伝播してくる現象です。津波の速さは水深によって決まり、陸地に近づくほど遅くなりますが、それでも海岸付近で時速約36kmにもおよびます。つまり津波を見つけてから避難を始めても遅いのです。津波警報を見聞きしたり、強い揺れやゆっくりとした長い揺れを感じた場合は、ただちに高台や津波避難ビルなどへ避難しましょう。

津波は地形の影響も受けます。岬の先端やV字型の湾の奥では波が集中するため、局所的に津波が高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。

津波は一度だけでなく、長い時間にわたってくり返し襲ってきます。最初の波より後からやってきた波の方が大きいことがあるので、津波警報が解除されるまでは避難を続けましょう。

津波について知り、もしもの際にすばやく対応できるように心掛けましょう。

### 津波の特徴と身を守るためのポイント



津波警報を見聞きしたり、強い揺れやゆっくりとした長い揺れを感じた場合は、ただちに高台や津波避難ビルなどへ避難しましょう。



津波は沿岸の地形等の影響により局所的に高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。



津波は長い時間にわたってくり返し襲ってきます。津波警報が解除されるまで避難を続けましょう。



地震に関する情報は  
沖縄気象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.htm>

沖縄気象台

検索

